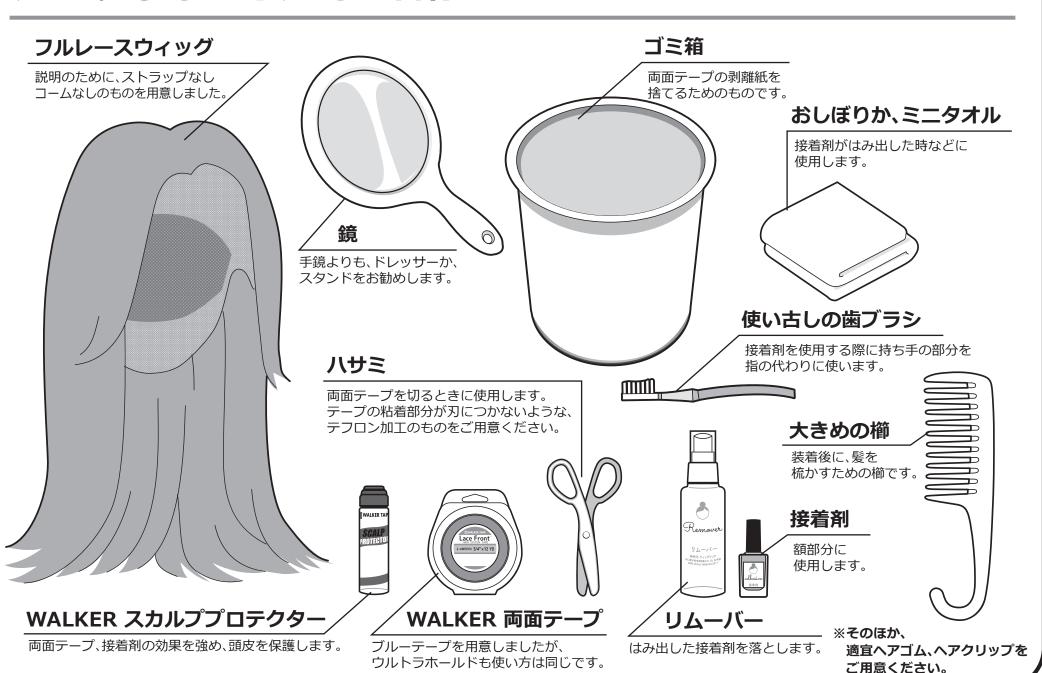
用意するものと、その名称



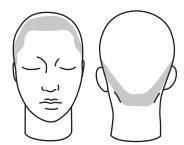
装着の手順

1 WALKER スカルププロテクターを頭皮に塗ります。



フルレースウィッグを装着するためには、両面テープや接着剤が必要です。 テープや接着剤の粘着力は、汗や皮脂で弱まってしまいますので、最初に「WALKER スカルププロテクター」を頭皮に塗ってください。

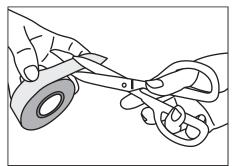
頭皮に薄い保護膜を作り、テープや接着剤の粘着力を強めるだけでなく、刺激から頭皮を守ります。



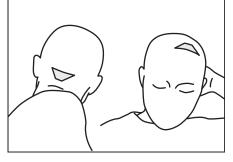
WALKER スカルププロテクターを塗る範囲は、図のように 生え際のみです。

テープ、接着剤を使用しない部分には塗る必要はありません。 (WALKER スカルププロテクターは無色透明ですので、色がつくことはありません)

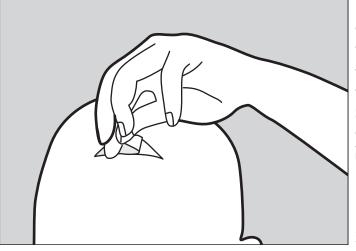
2 WALKER レースフロントブルーテープを頭に2ヶ所、貼ります。



テフロン加工のハサミで WALKER レースフロントブ ルーテープを2センチほど、 台形に切ります。



額の上部 (髪の分け目に掛からない部分)と、後頭部のうなじの少し上あたりの2ヶ所、切ったテープを貼ります。



まずは額の上部のテープ の剥離紙を剥がします。 テープを剥離紙の上から 指で押さえて皮膚に貼り 付いたのを確認したら、台

形に切ったテープの鋭角 の角の部分から、丁寧に剥 離紙を剥がします。 このとき、他の指で台形の

このとき、他の指で台形の中心部分を抑えるようにするとうまく剥がすことができます。

3 ウィッグを被ります。







ウィッグの内側に髪を巻き込まないよう(額 上部のテープにウィッグの髪がつかないよう)注意しながら、ウィッグを被ります。

こめかみ、もみあげが左右対称になるよう、 細かく調整します。 額も狭すぎず広すぎず、ちょうど良いとこうろへ持っていきます。

調整ができたら、テープの上あたりを手を 抑えて固定します。

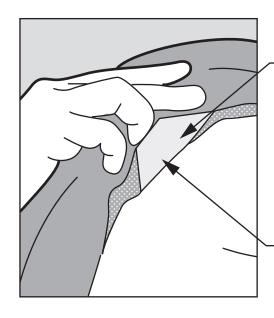
4 後頭部のテープの剥離紙を剥がします。

ウィッグの髪が長ければヘアゴムで軽く後ろを一つに縛り、後頭部うなじの上のテープの剥離紙を**②**と同じ要領で剥がします。 ウィッグを手で上から押さえて、軽く固定させます。

ここまでの過程で、ウィッグを前と後ろで軽く固定できました。

いよいよ、生え際を 360 度テープと接着剤を使って皮膚に固定していきます。 ここから先はやや難易度が上がりますが、数回やればできるようになりますので、少々失敗しても挫けずに頑張ってみましょう。

5 こめかみ部分を、テープで貼っていきます。



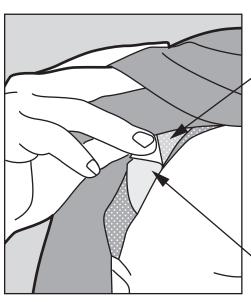
ブルーテープをレースに貼ります。

テープは、レースの縁ぎりぎりのところに貼ります。 ほんの1ミリ程度、はみ出すくらいは構いません(はみ出し過ぎるとテープが目立ってしまいます)。

また、内側に貼ってレースが余ってしまうと、レースが皮膚に擦れて痒みが出ることがありますので、そ の際はテープを細く切って貼るか、接着剤で抑えてください。

この状態は、まだ剥離紙がついています。

端からゆっくり剥がします。



ここは、剥離紙を剥がした部分です。

両手の指を使って、台形に切ったテープ の鋭角部分から丁寧に剥離紙を剥がして いきます。

頭皮に付けるよりも不安定ですので、ご 注意ください(貼ってから時間が経つと、 粘着力が安定します)。

ここはまだ剥離紙がついています。

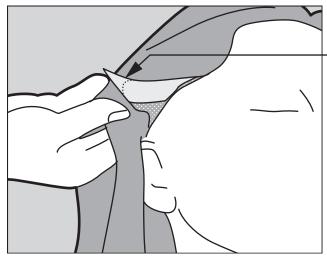
この部分も引き続き、ゆっくり、丁寧に 剥がしていきます。



こめかみ部分、 できました。

こめかみの牛え際 らしいカーブがつ いており、自然に 見えます。 反対側も同じよう

6次に、もみあげ部分をテープで貼っていきます。

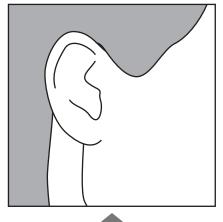


今度は、レースから少し はみ出す感じで。

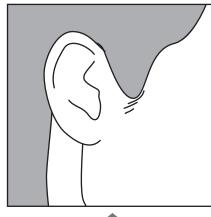
もみあげ部分も、台形に切った テープをレースに貼ったあと、皮 膚に押し当てて装着します。

その際、台形の尖った部分を少しだけレースからはみ出す形で皮膚に貼ると、その部分にウィッグの毛髪がくっつき、とても自然な形のもみあげになります。

反対側も、同じように貼ります。

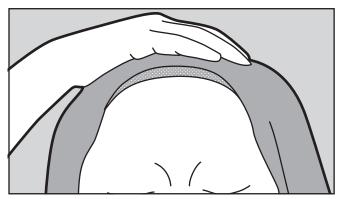


レースぴったりに貼った例

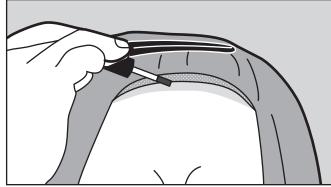


少しはみ出して貼った例

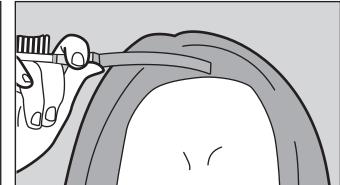
7 額部分を接着剤で貼ります(皮膚が弱い方はテープをご使用ください)。



額があらわになるように、前髪を手で押さえるか、ヘアクリップでとめます。



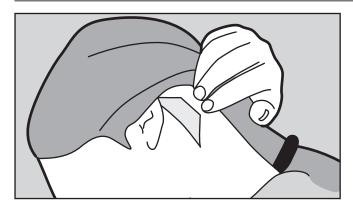
ウィッグリリア接着剤を薄く塗ります。 (実際には、皮膚に色がつくことはありません。)



歯ブラシの柄の部分 (シリコンゴムでできていることが多く、接着剤が付きません)で抑えます。 10秒程度で接着できます。

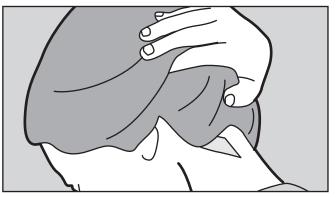
- ※接着剤を連日続けて使用しますと、皮膚に赤み、かゆみが出ることがあります。その場合はテープを細く切ってご使用ください。
- ※接着剤が毛髪や皮膚についた場合は、ミニタオル等にウィッグリリアリムーバーをスプレーして拭き取ってください。
- ※ティッシュやコットンは、繊維が接着剤に白くついてしまうので、お勧めできません。

3 後頭部を耳の後ろから順に貼っていきます。



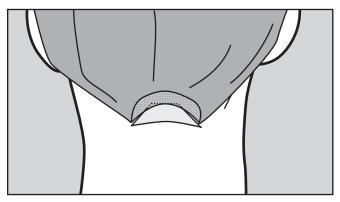
耳の後ろにテープを貼ります。

鏡で確認できないため、手探りになりますが、耳の後ろにこのようにテープを貼り、 剥離紙を剥がしてウィッグを貼ります。 反対側も同じように貼ります。



うなじの両脇に進みます。

うなじの先端を 3 センチほど開けた (見え ないので適当でいいです)、両側を同じようにテープでとめます。



うなじ部分でフィニッシュです。

最後に、うなじの襟足を同じようにテープ でとめて、完成です!

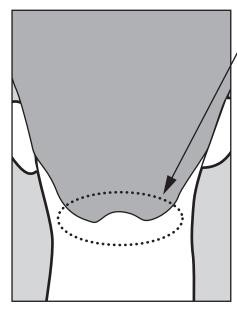
レースが余るようであれば、その部分も細 く切ったテープでとめてください。



テープを台形に切ると、このように使えます。

両面テープの剥離紙が思うように剥がれないことがよくあります。

台形にテープを切りますと、 図のように、すでに貼ってあるテープに少し重ねて貼る ことで、剥離紙が剥がれやす くなり、作業が楽になりま す。



うなじと、その両脇部分は剥がれやすい。

/ 点線で囲った部分は、他の部分に比べて動かすことが多いため、どんなウィッグでも、どんな装着方法でも、着用しているうちにずれてしまうことが多い部分です。 着用中に、この部分のテープが徐々に剥が

看用中に、この部分のテーフが徐々に剥かれてきた場合は、接着剤かテープで再度固着させてください。

または、この部分のテープだけリムーバー を使って丁寧に剥がして、再度テープで貼 り直してください。

乱暴に剥がすとウィッグの毛髪が抜けてしまい、ここだけ髪が薄くなる原因となります。